

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	有限会社 グループホーム和	評価実施年月日	平成19年5月7日								
評価実施構成員氏名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">板橋 由美</td> <td style="width: 50%;">田中 博之</td> </tr> <tr> <td>平野 久枝</td> <td>関 龍子</td> </tr> <tr> <td>荒木 生子</td> <td>古田 美紀子</td> </tr> <tr> <td>池田 公子</td> <td>廣瀬 香織</td> </tr> </table>			板橋 由美	田中 博之	平野 久枝	関 龍子	荒木 生子	古田 美紀子	池田 公子	廣瀬 香織
板橋 由美	田中 博之										
平野 久枝	関 龍子										
荒木 生子	古田 美紀子										
池田 公子	廣瀬 香織										
記録者氏名	板橋 由美	記録年月日	平成19年5月24日								

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>提携している母体の理念も上げている現状で、独自の理念ではない為、今後チーム全体で考え、作り上げたいと思考中である。</p>	○	独自の理念をチーム全体で検討中である。
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>理念に基づき、個人の生活援助計画に取り組み、目標の実現に向け、努力しています。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>家族の方には、理解を得られていると思いますが、地域の方には、来設者も少ない為、理念の浸透されているかは、難しい。</p>	○	独自の理念が出来上がり次第、自治会の回覧版に、グループホームの新聞を見て頂ける様考えたい。
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>乗客者が少なく、入居者より、寂しいと意見があり、日常的なつきあいが出来る様、努めて行きたい。</p>	○	町内会の回覧版を利用し、一般の方にも自由に訪問して頂き、顔みりとなり、日常的なつきあいが出来る様に努めていきたい。
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>自治会の行事(クリスマス会、敬老会)等に参加させて頂き、楽しく交流させて頂いている。</p>		
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>取り組んでいません。</p>	○	施設内のみでの取り組みで、余裕が持てない。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	理解し、サービスの質の向上に取り組んでいる。	○	外部評価の改善点においては、検討し、実施している。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議では、利用者の様子や、活動内容を報告し、推進委員さんより、提案された活動を取り入れ、サービスの向上に活かしている。	○	委員さんより、利用者との交流を持ちたいと、意見有、花見を計画、行う。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市の開催しているイベントには、利用者も見学に行き、楽しんで頂いている。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	学ぶ機会はありません。成年後見人制度については、現利用者については、利用者代理人、身元引受人がいるため、活用はしていない。	○	捜索、災害時には、町内の方に協力要請を自治会長さんを通し、話す。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	利用者の行動に制限はなく、生活して頂き、職員1人ひとり虐待については、常識をもち、介護をしている。	○	職員と利用者の信頼関係を常に密とし、利用者の不満や、相談を話してくれる様な、環境作りに心掛けています。
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時には、契約書を読み上げ、納得された上で捺印して頂いています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者より、食事に対し、食べた物の希望あり、出来子範囲で、提供を行っている。 苦情窓口とし、ホーム内に、意見箱を設置してはいますが、現時点では、ありません。</p>	○	<p>何か困っている事はないか、話しを聞き、不安のない生活をして頂く様努力したい。</p>
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>御家族様へ、月1度、手紙にて、生活面、健康面、出納帳を送り、安心して頂き、管理者が、移動時には、報告を行っている。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情窓口、ホーム内管理者、工別市保健福祉課 北海道国民健康保険団体連合会となっておりますが、現時点では、苦情は、ありません。特に機会は設けてませんが、推進委員会にて、家族代表に意見を聞く機会があります。</p>	○	<p>苦情があった際には、会議を開き、対処していきたい。</p>
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全体会議を開き、意見や、提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>日勤者3~4人となっております、対応可能又、夜間帯、利用者の状態悪化時には、管理者が、対応を行っている。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>退職者と新採用者と重なる様、勤務して頂き、利用者と同様なじみとなって頂いている。</p>	○	<p>新採用者は、ホームの流れを把握すると同時に、入居者の顔や、名前を覚え、より多く、接して頂いている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	年に1~2回に分け、実践者研修と、グループホーム介護スタッフ、レベルアップ研修に参加し、終了後、勉強会も行っている。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	交流する機会は、持たしていませんが、提携会社の指導のもと、サービスの質を向上させている。	○	今後、他の施設の見学に行き、良い所を吸収したい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	業務上の悩みは、全体会議の中で、意見を出したり、その都度上司に相談している。		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	より良い介護をしていく上で、納得の出来た介護をした時には、心から認め、向上心を図って頂く。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前に、アセスメントをとり、本人の思いを聞き、利用者にとって不安のない生活を送れる様、努力している。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居の予約時、どのような事で、介護面で困っているか、今後どのような様になるか良く話を聞き、入居後の課題とし、支援していく。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時、どのような支援が必要か、見極めている。	○	本人の状態により、他の施設への情報提供も行っている。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	利用者の状況により、遊び感覚で、日中通ってもらい、徐々に馴染んでもらう形をとっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	時間の許す限り、利用者の話に、傾聴し、支えあう関係を築いている。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会の頻度が少ない為、職員の支援が多くなっている。	○	行事等を増やし、交流の機会を持つ様努めたい。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	定期的な手紙、電話等で、生活状況を報告し、疎遠にならぬ様、配慮している。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族、知人が、いつでも面会に来て頂ける様、声掛けをしている。	○	散歩や、ドライブで、利用者の希望の場所に連れて行く様努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	食事やリビングのリカーでは、出来る限り、違う利用者に関われる様 又、トラブルのない様に席を考えている。 ドライブ等、職員と共に外出する際は、普段あまり会話をしていない 利用者同士に声掛けし、交流をもつて頂いている。	○	1階、2階共に、時間がある時には、お互いの階へ 行き、交流を持って頂いており、クリスマス等行事日には、 1階、2階、各回で行っている。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続 的な関わりを必要とする利用者や家族に は、関係を断ち切らないつきあいを大切に している。	サービス終了後、入院や他施設への入所の場合、 つき合いはないが、自宅へ戻られた利用者との交流は、 現在も継続されている。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意 向の把握に努めている。困難な場合は、本 人本位に検討している。	何気ない会話の中からも、利用者の思いを知る努力や、 家族への協力も依頼したり、カンパレックスを直し、職員が、 利用者の思いも共有できるように努めています。		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし 方、生活環境、これまでのサービス利用の 経過等の把握に努めている。	バックグラウンド用紙の記入を、お願いし、 わからない事は、本人や家族へ聞き、把握できるように、 努めています。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状 態、有する力等の現状を総合的に把握す るよう努めている。	一人ひとりの活動を、午前と、午後共に記録し、午前中に、 バイタル測定を行い、顔色等、観察を行っている。 又、午前のバイタル測定で、異常あった際も観察し、 午後も再検を行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケア のあり方について、介護支援専門員の適 切な監理のもとに、本人、家族、必要な関 係者と話し合い、それぞれの意見やアイ ディアを反映した介護計画を作成してい る。	本人、家族の思いも良く聞き、課題、短期目標に取り入れ、 具体的な、介護内容を作成している。	○	個人の計画が、どの様に活され、 利用者の変化について、話し合いを行っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	アセスメントは、6ヶ月に1度、生活援助計画は、3ヶ月で行い、現状の変化が激しい利用者には、生活援助計画の期間を3ヶ月より短期間にして、見直しをし、カンパレスを行っています。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	個別のケース記録に、記録し、気づいた事や問題点、工夫が必要な時は、カンパレスや、日常業務内で、話し合いをしています。	○	介護計画を参考にし、記録に、活かしています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	多機能性はないが、事業所のみでの支援を行っています。	○	現時点では、予定はない。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	緊急時には、協力を頂ける様に警察、消防、地域住民、家族におお願いしています。 地域とのつながりは、まだ少なく、不十分ですが、教育機関の協力は、何度かあります。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	行ってない。	○	本人、家族の希望時には、検討したい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	行ってない		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>入居後も、利用されていた病院に受診同行し、医師、看護師に、 注意事項等聞き、健康管理には、充分に注意しています。</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>神経科に受診し、状態悪化時には、対応の相談したり、 薬の調整も行って頂いています。</p>		
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>現在、施設内に看護師2名が勤務しており、 利用者の健康管理や、受診等相談しています。</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>入院時に、本人の状況が分かる介護添書を提供し、 入院後は、定期的に面会をしています。</p>		
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>ホームでは、重度化、終末期を告げられた方は、いなく、入院され、 重度化された場合、2ヶ月間、居室を確保行い、医師、家族の話し合いにより、ホーム内での支援が難しい場合は、 本人に合う施設を紹介して頂いています。</p>		
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること、できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>現時点では、重度化、終末期を告げられた方はいませんが、 身体的機能低下が著しく見られた場合家族と相談の上、 老健施設等の申請を勧めています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	自宅での面接、ホームの見学をして頂いています。 本人、家族の他、担当の支援専門員からも、 情報収集を行ったり、提供しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	一人ひとり、言葉掛けに、注意し、対応しています。 個人情報も、厳重に、取り扱っています。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	わかりやすい言葉を使用し、利用者が自ら決め、 納得できる様、支援しています。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	朝は、ラジオ体操を行っていますが、利用者が、 自分のペースで過せるよう、努めています。	○	ドライブの際は、一人ひとりに声掛けし、外出したり、 入居者と出掛け、行き先の希望を取り、 出来る限り、要望に答えている。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	利用者それぞれに理容、美容店があり、希望時には、 利用できるよう、又、化粧品等は、希望のもの 購入するよう努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	野菜の皮むきや、配膳等も、手伝って頂き、職員と共に、後片付けなど、個々に役割を持って頂いております。	○	歩行が苦手な利用者には、介添りに座って頂き、食器拭きも手伝って頂いております。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	タバコは、喫煙場所を設けて、希望時に、職員と一緒に、喫煙して頂いております。 飲み物は、多種用意しており、利用者の希望のものも、提供しております。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個別にトイレ誘導し、状態に合わせた対応をしております。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	曜日を決め、入浴しなければ、なれない現状があります。	○	入浴日は、利用者のペースに合わせた入浴を行うよう、心掛けております。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	利用者の希望により、布団や、ベッドを使用され、起床、就寝時間も、利用者のペースに合わせております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	掃除、片付け等、利用者に行える事を、行ってもらっております。	○	ダンス教室、ゲートボール等、昔からの趣味を楽しんで頂けるよう、支援しております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者の希望や、能力に応じて、自己管理を行ってもらっています。	○	自己管理が難しい利用者でも希望があれば、家族と相談し、少額のお金を所持して頂いています。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	買い物や、外出の希望があれば、その都度支援しています。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	車での移動は、可能なので、希望時には、ドライブに出掛けたりしています。	○	外泊される人が少ない為、手紙や、電話等について、出掛けられるよう機会をお願ひしています。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	利用者の希望にて、居室内に、電話を設置できます。	○	ホームの電話を、自由に使って頂いています。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会しやすいように努め、利用者への来客時には、コーヒー、お茶を提供し、和んで頂けるよう、配慮をしています。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	行いにに対しては、理解しています。過去に強い帰宅願望のある利用者が、ホームよりいなくなり、本人の思いを考え、家族と話し合い受診していましたが、状態悪化が強く見られたことから、医師、家族と相談し、他病院へ入院となりました。	○	今後も拘束のとりぬよう、利用者の思いになり、時には、家族や、医師の協力を得て、ケアに取り組むたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>66 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>表玄関は、自動ドアになっていますが、職員が、手動で、閉閉しています。</p>	○	<p>夏場は、裏玄関を開放し、職員、見守りの中、ベンチでの日光浴や、芝生等の散歩を自由にしたい。</p>
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>1日の様子をチェックし、引継ぎを行っています。</p>		
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>個々の能力に応じて、対応しています。</p>		
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>緊急マニュアルを用意し、個々に応じた、事故防止に努めています。</p>		
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>救急、応急手当マニュアルを用意し、勉強会を行っています。</p>		
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>消防署や、設備会社の協力で、防災訓練を、年2回実施しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	一人ひとりのリスク等を話し合い、課題に取り入れ見守りを行っています。 家族にも説明を行っています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日、バイタルチェックを行い、変化のある利用者へ申し送りにて、異変に対応出来るよう心掛けています。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の目的は分かるが、副作用は理解していません。 変化があった際は、病院受診を行い、医師の指示を仰いでいます。	○	薬処方時、効能、副作用を薬品カードで確認 行う事としています。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	水分摂取や、運動の声掛け、嗜好品にて対応しています。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	朝、晩歯磨きの声掛けを行い、就寝時、洗浄剤に入れるよう指導しています。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	魚、肉、野菜を偏りなく献立に取り入れ、利用者の状態に合わせた食事を提供しています。 1日1000cc以上の水分が摂れる様に配慮し、入居した際には、1日の水分量のチェックを行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防マニュアルを用意し、マニュアルに添って対応しています。	○	トイレ、浴室等、利用者が共有する空間は、あらゆる菌にも対応できる薬剤を使用しています。
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食中毒にマニュアルを作成し、見える場所に貼り、職員が共有し、衛生管理を怠らないようにしている。 食材は毎日配達の手配をとり、新鮮な物を提供しています。	○	包丁、まな板は、肉・魚用、野菜用と分けて使用しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	施設前には、大きなふくろうのオブジェが建てられ、郵便ポストも設置、立ち寄りやすい雰囲気作りをしている。又、安全に歩行出来るよう、スロープとなっている。5月末には、プランターに花を植える予定で、玄関がもっと明るくなる予定。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の行事に合わせ、利用者が作成した作品を、リビング等に飾ったり、月ごとに変わる絵画、きれいな造花を飾り、目で見て楽しめる様配慮されています。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングには、4つのソファを置き、それぞれ好きな場所に座りくつろげる様にしています。 喫煙場所は、ファンヒーターで温度差をなくす様、配慮しました。		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内は、使い慣れた物を準備して頂き、又、入居される時はお仏壇を気にこれ落ち着かれないため、小さな物を持ってきて頂き、自由に配置して頂いています。	○	入居され、不穏状態になり、居室も分からなくなるため、本人の居室と分かる様な物を飾ったり、名前を貼る工夫をしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないように配慮し、利用者の状況に 応じてこまめに行っている。	特に午前中換気に努め、超音波噴霧器を利用し、 空気除菌、消臭に努めています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している。	スロープ、バリアフリーとなっており、 廊下やトイレ等、手すりを設置し、安全に歩行 出来るようになっていきます。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している。	残存能力を活かし、個々にあった掃除、食器拭き等、 自ら行なえる様、場面作りをしています。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている。	施設裏は、芝生になっており、パークゴルフが出来ます。 又、ベンチを用意しており、日光浴や交流が出来よう 活用しています。	○	夏場には、自ら外出して、草取り等を行えるよう 軍手、くわ等の準備を行う予定です。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

- ①自治会の行事等に、積極的に参加し、地域の方々との交流を深めている。
- ②利用者との外出、会話、ゲーム等を一緒に楽しみながら、コミュニケーションを図れるよう工夫している。
- ③施設裏に、苑生があり、散歩や、パークゴルフを楽しむ事が出来る。
- ④各居室にトイレが完備され、利用者のプライバシーを保護している。
- ⑤ご家族に経済的負担をかけないよう、低価格に設定されている。